なめんなよ

熊闘委通信
No.24
81.12.4

全てのクラス・サークル・ゼミで意見問題の討論を

全ての学生に訴える。討論の渦巻き起こし、12.15へ

熊野寮寮祭 12.22-26

復活第2回

会員の皆さん、とりわけクラスを主体的活動を行なう教養部の学生諸君／熊野寮自治会は強く訴える。今こそ二人三人が入寮募集停止を頂点とする廃寮化攻撃の本質を見すえ、反撃の一歩を踏み出そう。全てのクラスで討論を行なおう。12.15全寮集会に合流しよう。

寮をめぐる情勢はますます緊迫してしまう。入寮募集停止の結ぼう月の都市長会議で既に出ており、一日に寄宿舎会（当局の最高諮問機関）で決定されようとしている。これは単に寮生だけの問題ではなく、まさに全学の問題だ。入寮募集停止・廃寮化の攻撃は、全学に用意された厚生施設としての寮を潰し、生活保障の場を奪うことにとどまらず、当局の管理体化攻撃の大きなステップであるということをだいてまずはっきりさせ、クラス・サークル・ゼミ・単位制廃止、今春の学内紛争一挙に日ソクアウト等の動きの頂点に、廃寮化攻撃があるのだ。

更には、現在進行している全国大学の学寮廃寮が、軍備増強を始めとして侵略戦争へ突き進む目前の、国家総動員体制構築の一環であることを見なければならない。戦争をもたらす国づくりのために、憲法改悪（天皇の元首化、軍隊保持の合憲化など）を初めとして、自衛隊の治安出動、国家管理寮など認められるべくもないのだ。

京大においても、78年学生部長沢田（現総長）の機動隊を導入した団交破壊以来、3年以上に渡り一度の団体交渉もせぬまま、学生部は一方的通告で次々と寮に対する攻撃をかけてきた。相次ぐ炊ふ、事務員・清掃員の削減、予算凍結、在寮者「確認」、そして今回の入寮募集停止策動があるのだ。

だが我々も一歩一歩反撃体制を構築してきた。全国の人民は、反動化に抗し新たな決起を開始し、とりわけ三里塚斗争は二期を迎って激突を始めようとしている。そうした斗いに呼応し、合流すると共に、学内においても廃寮化攻撃との斗いに起ち上がらねばならない。

再度訴える。全てのクラス、ゼミ、サークルで寮問題の学習、討論を！既にいくつかのクラスでは決議が上がり、学習会等も持たれつつある。疑問点、欲しい資料等あれば、〇正門前で情宣している黒ヘル部隊に言って来て欲しい。我々は責任をもって保償する。

そして12.15全学集会へ、共に起ち上がろう！

12.15 寮生大会、12.15総決起へ体制確立す

熊野寮自治会では、新執行部（第33期開催者員会）体制確立に向けて寮生大会が行なわれ、全寮生の2/3を超す結集の下、32期総括、33期方針が圧倒的に可決された。とりわけ今大会では、12.15全学集会を軸に、入寮募集停止阻止へ絶対起ちあがることが、全寮の決意として打ち固められた。また、前期に引き続き三里塚斗争に主体的に取り組み、3.28現地総決起集会へ参加することも確認された。

◇

◇

3.28 12.15 入寮募集停止阻止 全学総決起集会

三里塚現地闘争

正午A号館前 主催：二寮自治会
一期着工実力阻止！
空港粉砕！

主催：三里塚芝山連合空港反対同盟

自治
左丸太町通川端東入東竹屋町 tel.751-4050